

本時のねらい

「はじめ」「中」「終わり」の「中」がなぜその順序で書かれているのかを考えるを通して、筆者の意図を知り自分の考えを深める。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

「中」の挿絵カードの並びかえを、オクリンクを使って試行錯誤しながら行う。それにより筆者の意図を考え、自分だったらどのような順序で説明するかを考える。

活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・ iPad
- ・ マナビューア
- ・ AppleTV
- ・ オクリンク

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○前時学んださまざまなコマについて思い出す。 ○学習課題をつかむ 『『中』の順序について考えよう。』	・授業者が作成したオクリンクのスライドショーをもとに説明する。
展開 (30分)	○筆者が選んだ順序の理由をペア等で考える。その後全体で考える。 ○もし自分がコマの紹介をするならどうい順序に並べるかを考え、理由も書く。 ○自分の考えたものを全体共有する。	・事前に授業者が児童に送っておいたコマの挿絵のカードの順を並び替える。 ・オクリンクでペアに送り、説明し合う。 ・オクリンクを使って AppleTV でプロジェクターに映す。児童は自分のものと照らし合わせながら聞く。
まとめ (5分)	○振り返りを行う。	・オクリンクで振り返りを提出する。

1人1台端末を活用した活動の様子

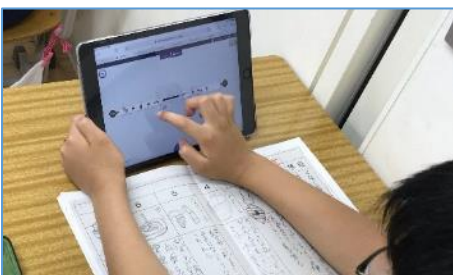


写真1：オクリンクを使って「中」の挿絵の順序を変えている場面



写真2：ペアで考えを送り合い、自分の考えを説明している場面

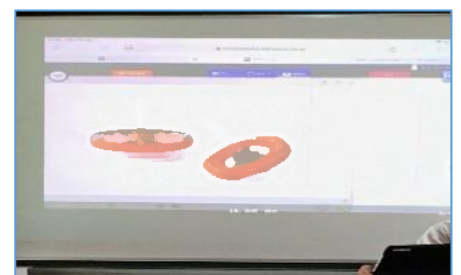


写真3：自分の考えた順序を全体で発表している場面

児童生徒の反応や変容

「オクリンクを使って自分なりの『中』の順序を考えるよ」と言うと、児童たちは「自分だったら～・・・」と目を輝かせていた。よりよい考えにするために、iPadを使わない時間も主体的に話し合ったり、授業者の話を聞いたりしていた。実際にiPadを使ってからは「中」の順序を自分で変え、どうしてその順序にするのかを理由まで書くことができていた。筆者の考え、「中」の順序を変える、発表など、終始集中して取り組むことができていた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

これまで、「中」のコマを並び替える際に印刷をして、糊で貼り付けるなど時間がかかることもあったが、iPadがあればその作業がなくなり、子どもたちは思考だけに意識を集中させることができた。

今回の単元は2学期の「すがたを変える大豆」の前段階として、「はじめ」「中」「終わり」の「中」の構造に注目させた。「はじめ」と「終わり」だけでなく、「中」にも筆者の意図があり、そこに気づくことで内容理解にもつながる。また筆者の考えを知った上で、自分だったらどうい順序で説明するかを考え、深めることができた。